

元気な草加 優しい越谷

NEWS
LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail : g04091@shugiin.go.jp ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

2004年2月13日 No. 89

細川さん、犯罪対策を訴える

2月12日、細川さんは予算委員会で質問に立ち、NHKテレビ放映のなか、主に多発する犯罪について、小泉総理に尋ねました。



予算委員会で質問する細川さん、右が小泉総理

安全神話の崩壊

細川さんは質問の冒頭、「日本の長所と言われた2つの神話が失われた。1つは貧富の差が小さいと言われた平等の神話であり、もう1つが、世界一安全な国と言われた安全の神話である。」として、これらが崩壊したと言われていることに対する政治の責任に触れ、小泉首相を追及するとともに、特に犯罪対策については国全体で取り組むべきことを強調しました。

政治の責任は重大

これに対し、小泉首相は神妙な表情で安全神話の回復のため努力するとは言うものの、特にみずから

の責任に触れることなく終わりました。

次いで細川さんは、北海道警察で裏金作りが行われていた件を取り上げ、小野清子国家公安委員長に

徹底解明を迫りました。

また、政府の犯罪対策閣僚会議を取り上げ、その実態はそれぞれの官庁が今までに行ってきた施策の積み上げでしかなく、政治が主導してしっかりした目標を設定したもの

ではない、と批判し、このままでは、国が内部から腐っていく、と警告しました。

駐車違反取締りの民間委託は進展

最後に、昨年の委員会で質問した、駐車違反取締り業務の民間委託について国家公安委員長に尋ね、具体化しつつあることを確認し、委託先に天引きすることのないよう付け加えました。

反響も続々と

テレビ中継は注目度が高く、細川事務所にも感想や意見が寄せられました。なかでも多いのは、学校や警察に対する批判でした。国民の安全についての心配は急速に高まっています。

イラク自衛隊派遣の 疑問強まる

通常国会は1月19日から始まり、1月中は総理の施政方針、各党の代表質問の後、主にイラクへの自衛隊派遣に関する議論が中心でした。

自公与党、派遣承認を強行

細川さんが野党筆頭理事としてリードする予算委員会では、補正予算審議の冒頭からイラクへの派兵について論戦が行われました。なかでもサマワ市評議会の存否については、石破防衛庁長官ら閣僚の答弁が二転三転し、小泉首相の本会議での発言撤回後も、混乱が続きました。現地の自衛隊らの情報収集と、外務省、防衛庁、官邸の意思疎通の悪さが明らかになるとともに、サマワの治安に対する不安を増幅させる結果になりました。

残念ながら、自衛隊派遣については自公与党の強引な国会運営により承認されました。わずか2日の審議、それにほとんどが逃げの答弁と答弁修正の挙句の強行採決です。そんな与党のやり方に対し、民主党も審議拒否はしないという原則を崩し、衆議院での採決には欠席し抗議しました。こんなやり方で事実上の戦地に行かされる自衛隊員が気の毒です。

予算、年金は疑問だらけ

通常国会の大きな課題は予算案の審議です。本予算の審議はこの10日から予算委員会で始まっています。民主党は岡田幹事長でもイラクの問題は大きなテーマになりますが、そのほかにも疑問はたくさんあります。

第一は、この予算案はほとんどが前年度のコピーであり、既得権益に対する切込みがない点です。したがって、国の借金はさらに大きくなります。特に重複計上を除いて総額207兆円にも及ぶ特別会計が

そういった既得権益の温床になっているのも問題です。

第二に、財政難を何とかするために、庶民への負担を求めていることです。年金にしても抜本改革はせず、保険料の切り上げだけが決まっています。将来の高齢社会を展望し、年金に対する信頼を取り戻すには民主党がマニフェストで提案したような見直しが必要です。

第三に地方に対して大変厳しい内容になっている点です。交付税は1兆円以上の削減、補助金も大幅に減らしたものの、税源移譲は極めて変則的であり、金額も不足です。

一言で言えば、弱者と地方にしわ寄せした予算です。



恒例の新春賀詞交歓会で今年の抱負を語る細川さん

細川さんから一言

寒の厳しい折、お元気でしうや。
予算の審議も本格的に始まり、
私も12日以内には立ちました。国民
の安全・犯罪対策を中心にして
泉総理に質問し、世界-安全な国
日本を目指して議論しました。
外交安保内題や年金内題は課題
の山積であるが、元気で頑張ります。